



佐棟健太 君(17)
小高下町

晴れの国おかやま国体「馬術少年ダービー」で、見事4位入賞を果たした高梁高校2年生の佐棟健太君。「馬に恵まれ、監督をはじめ回りの人たちに支えられてきたおかげです。最後まで馬を信じて、自信を持って競技に臨めました」と大会を振り返ります。馬術は人馬一体の競技。コンビを組んだ愛馬フライトウエストとは、今年3月に巡り合い、その日から相思相愛の関係で相性ピッタリ。蒜山ライディングパークで、土・日曜日と夏休みの間はずっと合宿で一日中馬にかかわっていたそうです。小学校4年生の夏、初めて乗馬を体験し、そのおもしろさを体感。何度か体験乗馬をするうちに乗馬の奥深さに魅力を感じたといいます。中学3年生から今年1月まで

あこがれの舞台で堂々4位



は、成羽町の西部乗馬クラブに所属し、今国体の馬術成年男子スピードアンドハンディネスで準優勝した佐藤浩之さんのもとで指導を受けていました。佐藤さんは「佐棟君は馬の特長を生かした乗り方ができる選手。自分のことのように嬉しいですね。目標をしっかりと持ち上を目指して頑張ってください」とエールを送っています。趣味は、との質問に「もちろん乗馬です。馬とのふれあいが一番緊張感をほぐしてくれます。将来は馬に関係した職業に就きたいです」と馬がかけがえのない存在のようにです。佐棟君は恥ずかしそうに「『がんばれ』と励まし、支えてくれている両親に感謝しています。来年の国体では必ずトップを目指します」ときっぱり話してくれました。



笹田皓二 君(17)
下谷町

晴れの国おかやま国体「ソフトボール少年男子」に、9番レフトで出場した高梁高校3年生の笹田皓二君。一回戦は福岡県に1対0で勝利。準々決勝の神奈川県には3対1で惜しくも敗れはしたものの、5位入賞。「岡山県で開催された国体に、選手として出場するという貴重な経験ができたことを誇りに思っています」と晴れ晴れとした表情で話します。笹田君が、ソフトボールを始めたのは高校から。伝統ある高梁高校のソフトボール部でプレーしたいと思い、入部。「足を生かして一回でも多くのチャンスを作るのが僕の役目」と謙虚に話します。そんな笹田君が岡山県代表選手に選ばれたのは、今年の7月。「自分の力を出し切って天皇杯を獲得できるように少しでも貢献したい」と決意し、練習に励んできました。不調なとき、お前ならで

ソフトボールが教えてくれたもの 少年男子ソフトボール出場



と励ましてくれた仲間たち。早朝から遠方の練習会場などに車を走らせてくれた父や、栄養のバランスを考えながら弁当を作ってくれた母。大会期間中、民泊で温かく迎え入れてくれた美咲町小原地区の皆さん。他にもたくさんの人たちに支えられ、国体という大舞台に立てたと感謝します。「高校3年間はソフトボール中心の生活。礼儀や継続することの難しさ、大切さを学びました。また、嬉しさや辛さを共感し、支え合える『仲間』の大切さにも気がつかれました。ソフトボールに出会えたことで、大きく成長できたと思っています」と振り返ります。「将来は、ソフトボールを通して得たものを生かして、スポーツの楽しさや重要性を多くの人たちに伝えていきたいです」と力強く話します。

